

2020. 10. 11

六角橋教会

週報

牧 師 加 山 真 路
牧 師 佐 藤 栄 一

† 聖日 礼拝 前11時

— 神学校日 —

(司会) 加山真路牧師

大東敬子姉

奏楽 詩編95編7節

一四 (1) 3節

主の祈り 九三 (5) A

交誦詩編 四六

信仰告白 (使徒信条)

二八

祈禱 使徒言行録 27章 13 ~ 26節

一七

讚美歌 「嵐の中を」

西川良三神学生

説教

祈禱 四六七

讚美歌 二七

献金 二七

讚美歌 二七

祝禱 二七

報告

§ 今週の集会

日曜学校 11日 前9時

シヤローム委員会② 11日 礼拝後

クリスマス委員会① 11日 礼拝後

祈禱会 14水 後7時 (加山牧師)

埋葬式(北川勇之助) 15木 前11時 (教会墓所)

礼拝委員会(1) 15木 後2時半

* 今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後 有志でお願いします。どうぞよろしく

お願いいたします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した

グループで、トイレは週末に有志で。

◆ 今日のお花の奉仕は、高橋直子姉です。

∧ 礼拝当番 ∨

(今週)

(次週)

(当番役員)

君田もと子姉

三枝 京子姉

岡本 裕兄

北村 敬子姉

澤村 成兄

坂井美智子姉

小田嶋 薫姉

海老澤熙子姉

西田 晴重兄

※ 10月11日の「分散礼拝」は（全員名簿の）「六角橋」・「緑・都築・青葉区」・「市内」の方々です。分散礼拝は、今年いっぱい（12月27日）まで継続する」とが、役員会で決まりました。（詳細は、同封の「役員会報告」をよくお読みください。

* 今日が神学校日

10月第2聖日は、全国の教会が、牧会者となる決心へと導かれた方たちのことを思つて過（こ）す「神学校日」。当教会でも毎年神学生の説教で礼拝を守つていますが、今年は西川神学生を招いて、日曜学校と一般礼拝の両方で奨励・説教をしていただきます。（「奉仕に感謝いたします。」

* 今日の説教者

西川良二神学生は日本聖書神学校4年。今年3月まで六角橋教会で2年間実習神学生として奉仕。40年の中学、高校の教員生活の後、お連れ合いと共に神学校に入学。現在、日本聖書神学校の家族寮にお住まいです。（佐藤牧師が神学生時代に暮らしたところと同じ住居です！）

* 予告1 永眠者合同記念会

11月3日（日）午後1時半からです。申し込みは25日（日）までですが、先週お配りした申し込み用紙に、コロナ対応を考えた趣旨や申し込み方法について書かれていますので、どうぞよくお読みください。当日の礼拝も、ライブ中継および録画配信を予定していますので、くれぐれも「無理なきまよう」。

◆ 感染症防止用「講壇アクリル板」

すでにお気づきの方も多いと思いますが、9月27日（日）の礼拝から、コロナ対策の一環として、講壇上にアクリル板が設置されました。作つてくださったのは梅澤謙司さん。限られたスペースですし、簡単にズレたり落ちたりしないよう、また見栄えも良いようにと細やかに考えてくださり、最後の仕上げは、みどり姉の母上のご葬儀翌日というのに、お二人で教会に来て作業してくださいました。これで、礼拝堂最前列にも座れるようになり、また先日の結婚式も安心しておこなうことができました！ 心より感謝！

◆ 「寿ハザー」と「海員宣教活動」のために献品を！

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、5月の募集は見送りましたが、収束が見通せない中、厳しい冬を迎えざるを得ない方々に少しでも必要なものを届けたいと思いつ画しました。

教会も分散礼拝を余儀なくされている時期ですが、募集期間を長くしてなるべくたくさんの方々の方々の協力を頂きたいと思っております。

① 寿地区センターの「冬の炊き出し・バザー」

・食料品(米、缶詰、乾麺、乾物類等々)、

バザー用に男性用冬物衣料

・その他日用雑貨(石けん、歯ブラシ、歯磨き粉等)

※ 衣類は新品でなくても構いませんが、洗濯して「自分で、まだ着られる」と思われるものをお願いいたします。

・また、今回は、期間中募金箱を置いて献金の協力もお願いいたします。(募金箱は、いつも事務室に置いてありますので、「自由にごとせ。」)

・期間 10月11日(日)～12月9日(水) 午前中

・仕分け・梱包 9日午後1時～

② 併せて、加山牧師が関わる教区海員宣教協力委員会が呼びかけている海員(船員)のためのクリスマスプレゼントも募っています。このコロナ禍で、いつも以上に寂しい思いを募らせている船員が多いので、とても喜ばれるそうです。

♪ 詳細は掲示板をご覧ください♪

※ 横浜市におけるカジノを含む統合型リゾート施設(IRS)誘致についての住民投票を求める署名

今日は、緑区在住の方に呼びかけています。1Fホールにて。(選挙権のある18歳以上の方。自筆で要押印。指印も可です。)

§ 前週の報告

	男	女	計	(求)	(献金)
聖日礼拝	23	40	63	(8)	四二、八九七三
9/30祈祷会	5	7	12	(3)	
10/7祈祷会	4	3	7	(0)	

(使徒言行録 27 章 13 ～ 26 節)

- 13 ときに、南風が静かに吹いて来たので、我々は望みどおりに事が運ぶと考えて錨を上げ、クレタ島の岸に沿って進んだ。
- 14 しかし、間もなく「エウラキロン」と呼ばれる暴風が、島の方から吹き降ろして来た。
- 15 船はそれに巻き込まれ、風に逆らって進むことができなかつたので、わたしたちは流されるにまかせた。
- 16 やがて、カウダという小島の陰に来たので、やつとのもので小舟をしっかりと引き寄せることができた。
- 17 小舟を船に引き上げてから、船体には綱を巻きつけ、シルティスの浅瀬に乗り上げる

のを恐れて海錨を降ろし、流されるにまかせた。

18 しかし、ひどい暴風に悩まされたので、翌日には人々は積み荷を海に捨て始め、

19 三日目には自分たちの手で船具を投げ捨ててしまった。

20 幾日もの間、太陽も星も見えず、暴風が激しく吹きすさぶので、ついに助かる望みは全く消えうせようとしていた。

21 人々は長い間、食事をとっていなかった。そのとき、パウロは彼らの中に立つて言った。「皆さん、わたしの言ったとおりに、クレタ島から船出していなければ、こんな危険や損失を避けられたにちがいありません。

22 しかし今、あなたがたに勧めます。元気を
出さない。船は失うが、皆さんのうちだ
れ一人として命を失う者はないのです。

23 わたしが仕え、礼拝している神からの天使
が昨夜わたしのそばに立って、

24 こう言われました。『パウロ、恐れるな。
あなたは皇帝の前に出頭しなければならな
い。神は、一緒に航海しているすべての者
を、あなたに任せてくださったのだ。』

25 ですから、皆さん、元気を出さない。わ
たしは神を信じています。わたしに告げら
れたことは、そのとおりになります。

26 わたしたちは、必ずどこかの島に打ち上げ
られるはずですよ。」

〒221-

0802

横浜市神奈川区六角橋一の二六の八

〇四五(四三三)〇六九四

FAX(四三三)〇一九四

郵便振替口座00250・2・979

日本基督教団 六角橋教会